



田村剛一議員

総合発展計画

新発展計画の構想は

審議会で検討してもらおう

示してよいのではないかと。議会で議論された図書館、給食センターなども取り上げるのか。

沼崎町長 先入観をもたせないで、委員会、審議会と一緒に検討し、よいものをつくっていききたい。

質問

町長は、十七年度が第七次発展計画の最終年であり、町村合併五十周年にあたるとして節目の年であることを強調している。すでに第八次発展計画の策定に入っていると思うので、その構想と合併五十周年にふさわしい新事業・行事を考えているかどうか問う。

沼崎町長 第八次発展計画の重点施策については、策定作業に入ったばかりで固まっていない。今後、町づくり委員会、山田町総合発展計画審議会などと協議しながら計画づくりを進め、ある程度形ができた段階で議会に示したい。

合併五十周年事業については、十月二十三日に記念式典を予定しているが、新事業については厳しい財政状況にあり困難である。

質問

新しい発展計画はこれから五年間の山田の町づくりを方向づけるもの。町長は自分の思いをもっと



平成18年度から始まる第8次総合発展計画は、平成22年度を目標年次とする新しい町づくりの指針となる計画です（審議会の様子）

町の考えを聞く

新施設を活用した町づくりを

山田北地区の活性化に期待

地域振興



区画整理事業が進み、山田病院の移転で町の活性化が期待される山田北地区

質問 県立山田病院と特別養護老人ホームの移転新築に関しては町民の関心、期待が大きい。問題は中身、県立山田病院の医療体制はどうなるのか。二施設の建設スケジュールと合わせ聞きたい。

また、両施設を活用しての町づくり、地域おこしも期待されているが、どのように進めるつもりか。

沼崎町長 県立山田病院については、二月中旬に配置図及び計画平面図が県医

療局から示された。施設概要は既に説明しているとおり一般病棟六十床、診療科目は現在と同じ七科目診療、診療体制については、現時点では不明である。

特別養護老人ホームについての詳細説明はまだ受けていない。

これらの施設はいずれも山田北地区に建設されることから山田北地区の街並み形成、まちの活性化に大きく寄与されるものと期待している。